

## 【質問】 ナノトラップ<sup>®</sup> Flu A・B とは？




### 【回答】

鼻腔ぬぐい液、鼻腔吸引液、鼻かみ液又は咽頭ぬぐい液中の A 型インフルエンザウイルス抗原又は B 型インフルエンザウイルス抗原検出用のカセットタイプのキットです(3分～5分で判定)。

### 重要な基本的注意

- 1.インフルエンザウイルス感染の診断は、本製品による検査結果のみで行わず、他の検査結果及び臨床症状を考慮して総合的に判断してください。
- 2.咽頭ぬぐい液を検体とした場合、鼻腔ぬぐい液、鼻腔吸引液に比べ検出感度が低い傾向にあるので、検体の採取方法にご留意ください。
- 3.鼻汁鼻かみ液を検体とした場合、検体量が少ない場合や適切な検体採取が行われていない場合には、正しい検査結果が得られない可能性がありますので、検体の量、採取方法には十分注意してください。
- 4.テストプレートは、開封後直ちに使用してください。吸湿しますと品質に影響を及ぼし、正確な結果が得られません。用法・用量及び注意事項にしたがって必ず操作してください。

### 検体採取法

鼻腔ぬぐい液	鼻腔吸引液	咽頭ぬぐい液	鼻汁鼻かみ液
 <p>キット付属の滅菌綿棒を鼻腔内にしっかり挿入し、鼻甲介を数回擦るようして粘膜表皮を採取します。</p>	 <p>吸引トラップの一方のチューブを吸引ポンプに、他方のチューブを鼻腔最奥部にしっかり挿入します。吸引ポンプを使用して鼻腔液を吸引トラップに採取します。</p>	 <p>滅菌綿棒を口腔から咽頭にしっかり挿入し、咽頭後壁、口蓋扁桃の発赤部位を中心に数回擦るようして粘膜表皮を採取します。</p>	<p>問診により鼻汁(鼻水)の採取が可能と判断された患者に対して、検体採取用紙(非浸潤性で100cm<sup>2</sup>程度のもの)を手渡し、それに患者自身で鼻をかんでもらいます。得られた鼻汁鼻かみ液の一部を滅菌綿棒で十分量拭い取ります。</p>

## 操作説明

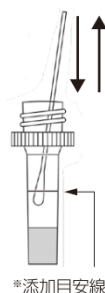
### ① 検体液の調製

#### 鼻腔ぬぐい液・咽頭ぬぐい液の場合

検体抽出液のキャップをとり除き、検体を採取した滅菌綿棒を検体抽出液に浸し、10回以上上下させて引き抜く。  
(容器ではさんで、綿棒の液を絞り出す)

#### 鼻汁鼻かみ液の場合

検体採取用紙(おもてであることをよく確認する)に鼻をかんでもらい、得られた鼻汁鼻かみ液の一部を滅菌綿棒で十分拭い取り、検体抽出液に浸し、10回以上上下させて引き抜く。  
(容器ではさんで、綿棒の液を絞り出す)



#### 鼻腔吸引液の場合

鼻腔吸引液0.5mLを生理食塩水1mLで懸濁し、検体抽出液のキャップをとり除き、懸濁液0.5mLを検体抽出液に加えて十分混和する。  
なお、懸濁液は添加目安線\*まで滴下する。

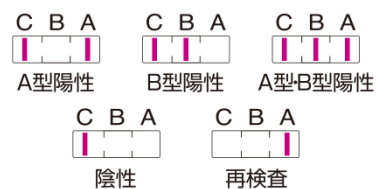
### ② ノズルを検体抽出容器の先端に装着

#### ③ 反応

テストプレートを水平な場所に置き、ノズル先端より検体液を3滴滴下



### ④ 判定 3～5分後に判定



※必ず判定部[C]に赤紫色の確認ラインの出現を確認してください。  
※陰性判定は5分後に行ってください。

出典：添付文書、使用説明書